

## ルート2:竹本義太夫ゆかりの場所をめぐるコース(徒歩約50分)

竹本義太夫 (たけもとぎだゆう)

(1651~1714)

江戸時代の浄瑠璃の太夫(語り)。義太夫節の創始者であり、道頓堀に竹本座を設立した。旗揚げ公演で近松門左衛門作『世継曾我(よつぎそが)』を語り、以後、近松と手を組んで次々と新しい作品を発表し、旧来の浄瑠璃とは一線を画す存在となった。

たけもとぎだゆうせいだんち ひ  
竹本義太夫生誕地の碑

<市中央部・南部版>

37

天王寺区茶臼山町 2-2 (谷町筋)

人形浄瑠璃小屋「竹本座」を開いた竹本義太夫がこの付近に生まれたとされる。

碑から南へ約200メートル歩くと、平成27年10月1日にオープンした天王寺公園エントランスエリア(愛称“てんしば”)があり、自然を満喫できる憩いの場となっています。

ちょうがんじ  
超願寺

<市中央部・南部版>

36

天王寺区大道 1-14-1

人形浄瑠璃小屋「竹本座」を開いた竹本義太夫の墓がある。

超願寺からすぐ北に四天王寺の南大門が見えます。かつて、この南大門の外側に万代池があったとされ、「摂州合邦辻」に登場する俊徳丸が池のほとりに小屋を建てて暮らしていたとされています。

たけもとぎあと  
竹本座跡

<市中央部版>

36

<国立文楽劇場周辺>

7

中央区道頓堀 1-8

竹本義太夫が「竹本座」を創設した地。現在は、道頓堀川南側の道路沿いに「竹本座跡」の石碑が建てられている。

※竹本座跡の約300メートル東側には、「豊竹座があった地」(市中央部版④、国立文楽劇場周辺⑩)があります。その東側には「道頓堀文楽座(朝日座)があった地」(市中央部版⑤、国立文楽劇場周辺⑬)があります。

四天王寺西門墓所から竹本座跡へは、徒歩30分以上かかります。電車を利用される方は、地下鉄谷町線 四天王寺前夕陽ヶ丘駅から、谷町九丁目駅で千日前線に乗り換え、なんば駅下車、北東へ徒歩約5分です。徒歩で行かれる方は、途中、上町台地の風情ある7つの坂道「天王寺七坂」や、大阪の台所として有名な「黒門市場」など、大阪の観光名所を楽しんでいただくこともできます。

してんのうじ  
四天王寺  
さいもんほしよ  
西門墓所

<市中央部・南部版>

35

天王寺区四天王寺 1-11-18

人形浄瑠璃小屋「竹本座」を開いた竹本義太夫供養塔がある。

※四天王寺西門墓所には、人形浄瑠璃界の功労者を顕彰するために建立された「浄瑠璃界先師の石塔群」、多くの人形遣いの系譜、墓の所在が不明のため建立された「人形遣いの碑」もあります。

四天王寺境内や周辺には、他にも多くの文楽ゆかりの地があります。<市中央部版・南部版>、<冥途の飛脚>、<摂州合邦辻>といったマップもご覧いただき、いろいろな場所を巡ってみてください。

### <凡例>

文楽ゆかりの地名

<〇〇版>  
①

所在地

文楽ゆかりの地マップ  
掲載箇所

文楽ゆかりの地 説明

大阪の観光名所や、他の文楽ゆかりの地の紹介などを記載